第78回通常総会議案

（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

と　き　令和5年5月25日（木）　15:00～15:30
ところ　倉敷市白楽町249番地5　倉敷商工会議所

公益社団法人 山陽技術振興会

倉敷市美和1－13－33
郵便番号710－0052
電 話（086）422－6655
FAX（086）422－6656
URL https://www.optic.or.jp/sangisin/
E-Mail sangisin@optic.or.jp

第78回通常総会議案

目　　次

第１号議案　「令和４年度事業報告」…… 1
第２号議案　「令和４年度収支決算報告」…… 4
第３号議案　「令和５年度活動方針と事業計画」……13
第４号議案　「令和５年度収支予算」……15
第５号議案　「役員改選」……18

［第１号議案］

令和4年度　事業報告

１．総会，役員会

名称	開催日	議題	出席者数
第77回通常総会	5月26日	１．令和3年度事業報告 ２．令和3年度決算報告 ３．令和4年度活動方針と事業計画 ４．令和4年度収支予算 ５．役員改選（改選期） ６．研修室資産主地区資金取扱規程一部改訂 ７．事業内容の変更に関する申請手続きの件 ８．定款の一部改訂の件 ・山陽技術振興会77通常総会 久しぶりの対面開催で63会員（委任状35を含む）の出席があり、総会が成立した。	63
第１回理事会	5月26日	上記総会に先立ち第１回理事会を開催、令和3年度決算（案）、会長・副会長、役員一部改選（案）が承認された。	(理事16) (監事1)
第２回理事会	3月28日	会長職務執行報告、第78回通常総会提出議案審議 １．令和4年度の事業報告と決算概要 ２．令和5年度の活動方針、事業計画、収支予算案 ３．役員改選（非改選期）、 ４．研修室資金に関する件、 ５．その他　第18回村川・難波技術奨励賞、 山陽技術雑誌 Vol.71、令和5年度総会記念講演 講師選定、美和事務所閉鎖の件、その他 【倉敷商工会議所にて開催】	理事19 監事1

（　）書面参加を含む

２．委員会

名称	年開催数	主な決定事項と活動
企画活動委員会	0	
雑誌編集委員会	1	山陽技術雑誌Vol.71の編集

３．技術振興事業

（１）講演会　　セミナー

名称	開催日	内容	出席者数
通常総会記念講演	5月26日	「丸五グループの100年～より愛される100年へ～」 岡本卓郎（丸五ゴム工業㈱代表取締役会長）	38

（２）工場見学会

見学工場	開催日	内容	出席者数
該当なし			

（３）技術交流会

名称	開催日	内容	出席者数
該当なし			

４．産学連携製造中核人材育成事業

令和4年度は開業16年目。この一年もコロナ禍の影響を受けたが、「コロナ禍でも企業の人材育成を支援する！」姿勢を堅持し、リモート講座の適応拡大に務め、講座担当者の努力と創意工夫、受講企業サイドの協力、受講者の頑張りとが相俟ってほぼ全面的にリモート講座が実施可能となった。結果として、ホームコース、出前コースとも、徹底した感染防止対策のもと講座実施し、年間では出前・共催30とホーム77講座および実証１を合わせ108講座を実施、年間受講数は2,617名でコロナ前の2019年に並んだ。結果として事業収益は1,214万円増の6,284万円と大幅増収増益となった。消費税引当に185万円、研修室資金に675万円を予定していたが、年央には人材育成室事務所水江移転に伴う諸経費、賃料増等が必要となるので、研修室資金預入は０とし【理事会承認を要す】、一般積立金として対応する。併せて、来年度以降に向けて、水江教室の設備機能充実、リモート講座の多様化、安全体験講座の充実、教育事業のメニュー拡大等を考えており、通信機能拡充、備品整備等も事務所移転に併せて実施する。

５．技術普及事業

（１）技術情報提供

１．山陽技術雑誌（Vol.70）5月20日発行　250部
　　会員と国内の大学、企業、研究機関などに配布

２．「山技振だより」を毎月初めに発行（山技振ホームページ掲載と会員に郵送）

３．各種助成金・補助金情報を適宜希望者にメール送信（希望者は申し出て下さい。）

（２）第17回村川・難波技術奨励賞

「超高密度不揮発性メモリに資する単分子誘電体の開発」西原禎文（広島大学大学院先進理工系科学研究科）［受賞者遠路のため総会表彰式は省略、賞状・賞金は郵送］

・山陽技術雑誌Vol.70：原稿7件、広告18件、本文32頁の雑誌250部が18日納品され、総会出席会員には議案書とともに会場で手交、欠席会員には郵送、その他の雑誌交換団体約８０には郵送した。

（３）文部科学大臣表彰、岡山県知事表彰

・令和4年度文部科学大臣表彰(創意工夫功労者賞)並びに岡山県工業技術開発功労者表彰(岡山県知事表彰)。

日時：平成4年4月22日14:30～　テクノサポート岡山にて授賞式【※今回表彰5件中4件が山技振推薦】。新型コロナ対策のため出席者を限定し、表彰状･副賞を受賞者一人一人に授与。アクリル板で仕切られた受賞者のヒトコト･スピーチが素晴らしかった。昨年7月3件7名推薦、2件4名授賞【「出銑口補修治具及び補修材の考案」（JFEスチール㈱　島川龍介、倉津一章）、「トルクブーストアタッチメントの考案」（中国電力ネットワーク㈱ 石原知幸、日前武志）】。

令和4年度岡山県知事表彰(岡山県工業技術開発功労者)：昨年10月3件６名推薦、2件5名授賞【「5翼XL型可変プロペラ装置の開発」（ナカシマプロペラ㈱ 三宅真司、姫井弘平、野上尚宏）、「上腕骨遠位端骨折に対する内固定材の開発」（帝人ナカシマメディカル㈱ 久山信一、岡山済生会病院 今谷潤也）】

（４）顕彰事業（他団体主催の行事に協賛して（公社）山陽技術振興会会長賞を贈呈）

名　　称	開催日	内容	会長賞
第86回岡山県生徒･児童発明工夫展並びに2022岡山県未来の科学の夢絵画展(注１)	11月8日 12月7日	審査会　テクノサポート岡山 表彰式　岡山県産業振興財団 主催　発明協会岡山県支部ほか	各１
第72回岡山県児童・生徒科学研究発表会（注２）	12月4日	於岡山理科大学 主催　岡山県科学教育研究会	4
第66回岡山県溶接技術競技会表彰式（注３）	11月10日	於リーセントカルチャーホテル 主催　岡山県溶接協会	1
ロボカップジュニア2022岡山ブロック大会（注４）	12月18日	ライフパーク倉敷 岡山大会運営委員会	1

（注１）第86回岡山県児童生徒発明工夫展（A）・2022未来の科学の夢絵画展（B）：11/8(火)審査会(於テクノサポート岡山)：事前審査で選出の作品から(A)特賞12点、(B)特賞10点を決定。12/7(火金)表彰式(岡山県産業振興財団)にて当会会長賞を2人に授与予定。A．作品名「クルットちりとり」新見市立千屋小学校6年本田蒼空(ほんだそら)、B．画題「雨がアメになるそうじき」 岡山市立財田小学校５年平優花理(たいらゆかり)
（注２）『生徒児童の顕彰事業』岡山県児童生徒科学研究発表会・表彰式　12月4日(日)9:20～於岡理大　表彰式非公開実施、山技振会長賞を4名に授与【①岡山市立綾南小学校村山史煌「かなへびはなんじにねているの？」、②岡山市立千種小学校信近耕汰「水生昆虫の観察」、③　真庭市立木山小学校平内心遥「今！！大切な人を守るために必要なこと第２弾」、④岡山大学教育学部付属中学校樋口碧一「風を遮る物の種類によっての風の通り方の変化」】
（注３）第67回岡山県溶接技術競技会表彰式：2022年11月10日（木）1400～ リーセントカルチャーホテルにて開催、入賞者は、半自動溶接の部6名、手溶接の部4名で、山陽技術振興会会長賞は山田海さん（エムイーシーテクノ㈱中国事業所）に授与した。
（注４）ロボカップジュニア2022岡山ブロック大会 in ライフパーク倉敷
2022.12.18(日)開催、今年は制約なく熱戦。当会会長特別賞の賞状をチーム「無認可ロボ研（矢部遼、大山泰河）」に授与。

（５）共催事業（他団体主催の行事に共催して山陽技術振興会として協力）
・川崎医科大学KMSメディカル・アーク2023 【オンライン大会】：2023年2月8日(水)12:00~16:00（山陽技術振興会後援）完了（アークにはノアの方舟の「方舟Ark」の意味が込められており、次世代へ伝えるべき医療の見本市となることを目指す。）

（６）協力事業（他団体主催の行事に山陽技術振興会として後援・協力・協賛）
・おかやま発明協会令和４年度定時総会、6月23日(木)、テクノサポート岡山　今年も児童生徒発明工夫展・未来の科学の夢絵画展に協賛。
・令和４年度岡山大学産学官融合センター研究協力会理事会総会：2022年6月22日（水）15:00～17:00 於岡山大学本部棟第一会議室、20年以上に亘り本会の会長を務められたナカシマプロペラ㈱中島博氏が退任し後任に中島基善が就任することとなった。
・岡山理科大学第22回OUSフォーラム2022年11月28日(ハイブリット開催)：オンライン期間11月21日～12月11日［http://renkei.office.ous.ac.jp/forum］．産学官連携成果発表会を県内大学トップを切って開催し、20年間休みなく継続開催しているのは立派。

６. 会員の異動状況　（令和5年3月31日現在）

会　員	令和４年度会員数	令和４年度異動		令和５年度会員数
		入 会	退 会	
法人会員	30	0	1	29
公共機関会員	11	0	0	11
団体会員	8	0	0	8
個人会員	26	0	2	24
合 計	75	0	3	72

令和４年度会員異動（実績）
入　会　　法人会員
　　個人会員
退　会　　法人会員　㈱化繊ノズル製作所
　　個人会員　佐藤邦夫、網屋繁俊

［第２号議案］

令和4年度　基本事業収支決算　（令和4年4月1日～令和5年3月31日）　（単位:円）

	項目	決算	予算額	増減	備考
1	**経常収益**				
	受取会費	**2,065,000**	**2,400,000**	**△ 335,000**	
	受取会費				
	法人会費	1,690,000	2,000,000	△ 310,000	
	公共機関会費	180,000	180,000	0	
	団体会費	80,000	90,000	△ 10,000	
	個人会費	115,000	130,000	△ 15,000	
	事業収益	**680,916**	**2,250,000**	**△ 1,569,084**	
	技術振興事業収益				
	技術振興普及事業	206,000	1,800,000	△ 1,594,000	講演会、交流会
	科学情報提供事業	474,916	450,000	24,916	資料斡旋、技術雑誌広告
	受取寄付金	**155,267**	**110,000**	**45,267**	
	受取寄付金振替額				
	村川・難波技術奨励賞基金	155,267	110,000	45,267	
	山陽技術賞基金	0	0	0	
	雑収益	**1,068,639**	**1,000,000**	**68,639**	
	受取利息	14	0	14	
	雑収益	1,068,625	1,000,000	68,625	人材より
	経常収益計	**3,969,822**	**5,760,000**	**△ 1,790,178**	
2	**経常費用**				
	事業費	**2,398,733**	**4,142,000**	**△ 1,743,267**	
	給与手当	1,291,500	2,770,000	△ 1,478,500	給与手当の70%
	福利厚生費	27,965	29,000	△ 1,035	福利厚生費の70%
	謝礼　諸謝金	33,411	20,000	13,411	
	会議費　会議費	128,688	230,000	△ 101,312	交流会
	印刷・製本費　印刷費	13,200	50,000	△ 36,800	
	旅費交通費	50,000	50,000	0	
	通信運搬費	86,226	110,000	△ 23,774	
	消耗品費	13,542	10,000	3,542	
	支払負担金	189,590	220,000	△ 30,410	
	賃借料	36,430	30,000	6,430	室料
	租税公課	62,128	80,000	△ 17,872	消費税
	表彰費	100,000	100,000	0	
	雑誌発行費	338,470	340,000	△ 1,530	
	雑費				
	情報関連経費	13,200	13,000		
	雑費	14,383	90,000	△ 75,617	
	管理費	**962,005**	**1,618,000**	**△ 655,995**	
	給与手当	553,500	1,187,000	△ 633,500	給与手当の30%
	福利厚生費	11,985	13,000	△ 1,015	福利厚生費の30%
	会議費　会議費	9,360	120,000	△ 110,640	総会、役員会
	印刷・製本費　印刷製本費	75,240	80,000	△ 4,760	総会議案
	旅費交通費	975	0	975	
	通信運搬費	71,490	60,000	11,490	
	消耗品費	2,554	5,000	△ 2,446	
	光熱水料費	232,081	120,000	112,081	
	租税公課	2,300	0	2,300	
	雑費				
	火災保険料	2,520	3,000	△ 480	
	雑費	0	30,000	△ 30,000	
	経常費用計	**3,360,738**	**5,760,000**	**△ 2,399,262**	
経常損益計		**609,084**	**0**	**609,084**	

	期末	期首		
村川・難波技術奨励賞基金	**288,665**	**443,932**	**△ 155,267**	
山陽技術賞基金	**1,168,627**	**1,168,515**	**112**	

令和4年度人材育成講座決算

令和4年4月1日～令和5年3月31日(単位　円)

	項目		決算	予算額	増減	備考
1	経常収益					
	受取会費					
		山陽人材育成会費	1,240,000	1,260,000	△ 20,000	日本火薬退会
	事業収益					
	人材育成事業	受講料費	60,826,220	48,880,000	11,946,220	受講者数増、出前増
		受託研修事業	440,000	550,000	△ 110,000	カネカ社受託なし
	雑収益					
		受取利息	354	10,000	△ 9,646	
		雑収益	270,000		270,000	
	経常収益計		62,776,574	50,700,000	12,076,574	
2	経常費用					
	事業費		45,236,568	41,286,000	3,950,568	
	給与手当		9,354,170	8,140,000	1,214,170	賞与増
	福利厚生費		1,170,085	1,060,000	110,085	賞与増
	退職金給付費用		435,960	436,000	△ 40	
	謝礼	*講師謝礼	16,565,623	14,110,000	2,455,623	受講者と出前増、一時金
	会議費	会議費	82,000	0	82,000	
		研修会議費	193,848	500,000	△ 306,152	リモート化で来場者減
	印刷・製本費	テキスト費	564,300	700,000	△ 135,700	東洋紡岩国出前対応
	講座関連費	講座関連費	1,856,792	1,800,000	56,792	
		OA費	190,460	200,000	△ 9,540	
	教材改訂・開発費		7,440,000	7,130,000	310,000	講座実施講師7割
	受託事業経費		930,000	1,100,000	△ 170,000	カネカ社受託なし
	通信運搬費		285,958	350,000	△ 64,042	管理と事業仕分け変更
	備品費		139,500	0	139,500	研修机を感染対策で追加
	賃借料		2,202,500	2,150,000	52,500	新事務所手付金
	雑費	協力費	1,000,000	1,000,000	0	
	租税公課		2,825,372	2,610,000	215,372	消費税増
	管理費		8,421,656	9,014,000	△ 592,344	
	給与手当		4,008,930	3,500,000	508,930	賞与増
	福利厚生費		501,464	455,000	46,464	賞与増
	退職金給付費用		186,840	187,000	△ 160	
	旅費交通費		343,724	700,000	△ 356,276	企業訪問増
	消耗品費		245,189	300,000	△ 54,811	
	通信運搬費		316,559	350,000	△ 33,441	リモート化費用増
	広告宣伝費		115,300	300,000	△ 184,700	広告削減
	会議費		150,455	160,000	△ 9,545	来訪者増
	修繕費		0	150,000	△ 150,000	
	備品費		765,100	832,000	△ 66,900	PC及び椅子更新
	リース料		908,849	700,000	208,849	リース増
	光熱水料費		253,130	250,000	3,130	
	雑費	新聞図書費	159,312	180,000	△ 20,688	
		OA費	295,658	600,000	△ 304,342	管理と事業仕分け変更
		為替手数料	106,315	150,000	△ 43,685	
		雑費	64,831	200,000	△ 135,169	
	経常費用計		53,658,224	50,300,000	3,358,224	
経常損益計			9,118,350	400,000	8,718,350	未払い受取消費税185万円
研修室改造費			0	0		
総支出			53,658,224	50,300,000		
総合収支差			9,118,350	400,000		研修室積立該当分675万円 消費税引当185万円

	期末	期首		
一般積立金	22,553,959	12,835,609	9,718,350	消費税引当と移転を合計し860万円
研修室基金	16,013,688	16,013,688	0	積立見送り
貸付金	600,000	1,200,000	△ 600,000	研修室貸付金の取崩
積立金合計	39,167,647	30,049,297	9,118,350	
退職金積立	2,868,000	2,245,200	622,800	2022年度積立額

*講師謝礼に委託料と講師旅費交通費を含む

財産目録

令和 5年 3月31日現在

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　　額
（流動資産）				
	現金	手元保管	運転資金として	14,213
	預金	普通預金 中銀倉敷駅前	運転資金として	1,427,508
		普通預金 中銀倉敷駅前	運転資金として	20,705,099
		振替預金	運転資金として	44,829
	未収金	受講企業	講義受講料他	2,325,692
	前払金	松平ｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ	講義室料	165,000
	貸付金	松平ｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ	講義室料	600,000
流動資産合計				25,282,341
（固定資産） 特定資産				
	山陽技術賞基金	定額定期・通常貯金 ゆうちょ銀行	公益目的保有財産であり、運用益を山陽技術賞事業の財源として使用している。	1,168,627
	村川・難波技術奨励賞基金	定期預金・普通預金 中銀倉敷駅前	公益目的保有財産であり、運用益を村川・難波技術奨励賞事業の財源として使用している。	288,665
	退職給付引当資産	定期預金 中銀倉敷駅前	職員退職給付引当金の引当資産として積み立てている。	2,868,000
	研修室資産取得資金	普通預金 中銀倉敷駅前	人材育成事業を行う施設を維持するために積み立てている資産。	16,013,688
固定資産合計				20,338,980
資産合計				45,621,321
（流動負債）				
	未払金	日本年金機構	社会保険料他	503,858
	預り金	職員からの預り額	源泉所得税、社会保険料	137,974
流動負債合計				641,832
（固定負債）				
	退職給付引当金	職員に対するもの	公益目的事業・管理目的の業務に従事する職員の退職給付引当金である。	2,868,000
固定負債合計				2,868,000
負債合計				3,509,832
正味財産				42,111,489

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
１．経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	**3,305,000**	**3,380,000**	**△ 75,000**
受取会費	3,305,000	3,380,000	△ 75,000
事業収益	**61,947,136**	**45,696,110**	**16,251,026**
技術振興事業収益	680,916	470,110	210,806
人材育成事業収益	61,266,220	45,226,000	16,040,220
受取寄付金	**155,267**	**290,125**	**△ 134,858**
受取寄付金振替額	155,267	0	155,267
寄付金・支援金	0	290,125	△ 290,125
雑収益	**1,338,993**	**1,503,309**	**△ 164,316**
受取利息	368	309	59
雑収益	1,338,625	1,503,000	△ 164,375
経常収益計	66,746,396	50,869,544	15,876,852
(2) 経常費用			
事業費	**47,635,301**	**35,396,136**	**12,239,165**
給与手当	10,645,670	8,487,500	2,158,170
福利厚生費	1,198,050	0	1,198,050
退職給付費用	435,960	222,000	213,960
謝礼	16,599,034	10,566,556	6,032,478
会議費	404,536	80,610	323,926
印刷・製本費	577,500	692,560	△ 115,060
講座関連費	2,047,252	1,347,265	699,987
教材改訂・開発費	7,440,000	7,040,000	400,000
受託事業経費	930,000	930,000	0
旅費交通費	50,000	156,920	△ 106,920
通信運搬費	372,184	652,939	△ 280,755
備品費	139,500	0	139,500
消耗品費	13,542	17,181	△ 3,639
支払負担金	189,590	190,527	△ 937
光熱水料費	0	120,000	△ 120,000
賃借料	2,238,930	2,056,690	182,240
租税公課	2,887,500	602,400	2,285,100
表彰費	100,000	0	100,000
雑誌発行費	338,470	342,650	△ 4,180
雑費	1,027,583	1,890,338	△ 862,755
管理費	**9,383,661**	**12,864,685**	**△ 3,481,024**
給与手当	4,562,430	7,100,000	△ 2,537,570
福利厚生費	513,449	1,138,330	△ 624,881
退職給付費用	186,840	334,800	△ 147,960
会議費	159,815	3,150	156,665
印刷・製本費	75,240	655,697	△ 580,457
旅費交通費	344,699	165,600	179,099
通信運搬費	388,049	142,394	245,655
備品費	765,100	2,300,710	△ 1,535,610
修繕費	0	28,700	△ 28,700
消耗品費	247,743	187,134	60,609
光熱水料費	485,211	344,271	140,940
リース料	908,849	0	908,849
租税公課	2,300	1,700	600
広告宣伝費	115,300	259,500	△ 144,200
雑費	628,636	202,699	425,937
経常費用計	57,018,962	48,260,821	8,758,141
評価損益等調整前当期経常増減額	9,727,434	2,608,723	7,118,711
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	9,727,434	2,608,723	7,118,711
２．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	9,727,434	2,608,723	7,118,711
一般正味財産期首残高	30,926,763	28,318,040	2,608,723
一般正味財産期末残高	40,654,197	30,926,763	9,727,434
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
特定資産運用益	112	196	△ 84
一般正味財産への振替額	△ 155,267	0	△ 155,267
当期指定正味財産増減額	△ 155,155	196	△ 155,351
指定正味財産期首残高	1,612,447	1,612,251	196
指定正味財産期末残高	1,457,292	1,612,447	△ 155,155
Ⅲ　正味財産期末残高	42,111,489	32,539,210	9,572,279

財務諸表に対する注記

1．重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金は、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2．特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
山陽技術賞基金	1,168,515	112	0	1,168,627
村川・難波技術奨励賞基金	443,932	0	155,267	288,665
退職給付引当資産	2,245,200	622,800	0	2,868,000
研修室資産取得資金	16,013,688	0	0	16,013,688
合　　計	19,871,335	622,912	155,267	20,338,980

3．特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
特定資産				
山陽技術賞基金	1,168,627	1,168,627	0	0
村川・難波技術奨励賞基金	288,665	288,665	0	0
退職給付引当資産	2,868,000	0	0	2,868,000
研修室資産取得資金	16,013,688	0	16,013,688	0
合　　計	20,338,980	1,457,292	16,013,688	2,868,000

4．指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

内容	金額
経常収益への振替額	
目的達成による指定解除額（指定事業の実施）	155,267
合計	155,267

5．引当金の明細

引当金の期中増減及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当金	2,245,200	622,800	0	2,868,000
合　　計	2,245,200	622,800	0	2,868,000

附属明細書

（特定資産および引当金明細については、財務諸表に対する注記において記載しているため、記載を省略している。）

貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　資産の部			
１．流動資産			
現金預金	22,191,649	13,828,612	8,363,037
未収金	2,325,692	0	2,325,692
前払金	165,000	165,000	0
貸付金	600,000	1,200,000	△ 600,000
流動資産合計	25,282,341	15,193,612	10,088,729
２．固定資産			
特定資産			
山陽技術賞基金	1,168,627	1,168,515	112
村川・難波技術奨励賞基金	288,665	443,932	△ 155,267
退職給付引当資産	2,868,000	2,245,200	622,800
研修室資産取得資金	16,013,688	16,013,688	0
特定資産合計	20,338,980	19,871,335	467,645
固定資産合計	20,338,980	19,871,335	467,645
資産合計	45,621,321	35,064,947	10,556,374
Ⅱ　負債の部			
１．流動負債			
未払金	503,858	87,179	416,679
預り金	137,974	193,358	△ 55,384
流動負債合計	641,832	280,537	361,295
２．固定負債			
退職給付引当金	2,868,000	2,245,200	622,800
固定負債合計	2,868,000	2,245,200	622,800
負債合計	3,509,832	2,525,737	984,095
Ⅲ　正味財産の部			
１．指定正味財産			
指定正味財産合計	1,457,292	1,612,447	△ 155,155
（うち特定資産への充当額）	(　1,457,292)	(　1,612,447)	(　△ 155,155)
２．一般正味財産	40,654,197	30,926,763	9,727,434
（うち特定資産への充当額）	(　16,013,688)	(　16,013,688)	(　0)
正味財産合計	42,111,489	32,539,210	9,572,279
負債及び正味財産合計	45,621,321	35,064,947	10,556,374

積 立 預 金 報 告

1. 山陽技術賞基金（令和5年3月31日現在）

（単位：円）

前年度末残高		1,168,515
利息繰入額		112
新規繰入額		0
戻入額		0
取崩し額		0
当年度末残高		1,168,627
積立預金内訳	ゆうちょ銀行（定額定期・通常貯金）	1,168,627

2. 村川・難波技術奨励賞基金（令和5年3月31日現在）

前年度末残高		443,932
当年度利息繰入額		0
当年度利息取崩し額（経常へ）		0
当年度表彰額（経常へ）		155,267
当年度末残高		288,665
定期預金内訳	中国銀行（倉敷駅前支店）	288,665
普通預金内訳	中国銀行（倉敷駅前支店）	

3. 退職給付引当資産（令和5年3月31日現在）

前年度末残高		2,245,200
当年度引当額		622,800
当年度利息		41
当年度利息取崩し額（人材育成経常へ）		41
当年度取崩し額		0
当年度末残高		2,868,000
定期預金内訳	中国銀行（倉敷駅前支店）	2,868,000

4. 研修室資産取得資金（令和5年3月31日現在）

前年度末残高		16,013,688
当年度利息		157
当年度利息取崩し額（人材育成経常へ）		157
新規繰入額		0
当年度末残高		16,013,688
普通預金内訳	中国銀行（倉敷駅前支店）	16,013,688

正味財産増減計算書（損益ベース）

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで　　（単位:円）

科　　目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合　計
Ⅰ一般正味財産増減の部				
1．経常増減の部				
(1)経常収益				
受取会費	1,652,500		1,652,500	3,305,000
受取会費	1,652,500		1,652,500	3,305,000
事業収益	54,215,975		7,731,161	61,947,136
技術振興事業収益	680,916		0	680,916
人材育成事業収益	53,535,059		7,731,161	61,266,220
受取寄付金	155,267		0	155,267
受取寄付金振替額	155,267		0	155,267
雑収益	1,338,993		0	1,338,993
受取利息	368		0	368
雑収益	1,338,625		0	1,338,625
経常収益計	57,362,735	0	9,383,661	66,746,396
(2)経常費用				
給与手当	10,645,670		4,562,430	15,208,100
福利厚生費	1,198,050		513,449	1,711,499
退職給付費用	435,960		186,840	622,800
謝礼	16,599,034		0	16,599,034
会議費	404,536		159,815	564,351
印刷･製本費	577,500		75,240	652,740
講座関連費	2,047,252		0	2,047,252
教材改訂･開発費	7,440,000		0	7,440,000
受託事業経費	930,000		0	930,000
旅費交通費	50,000		344,699	394,699
通信運搬費	372,184		388,049	760,233
備品費	139,500		765,100	904,600
修繕費	0		0	0
消耗品費	13,542		247,743	261,285
支払負担金	189,590		0	189,590
光熱水料費	0		485,211	485,211
賃借料	2,238,930		0	2,238,930
リース料	0		908,849	908,849
租税公課	2,887,500		2,300	2,889,800
広告宣伝費	0		115,300	115,300
表彰費	100,000		0	100,000
雑誌発行費	338,470		0	338,470
雑費	1,027,583		628,636	1,656,219
経常費用計	47,635,301	0	9,383,661	57,018,962
評価損益等調整前当期経常増減額	9,727,434		0	9,727,434
評価損益等計	0		0	0
当期経常増減額	9,727,434		0	9,727,434
2．経常外増減の部				
(1)経常外収益				
経常外収益計	0		0	0
(2)経常外費用				
経常外費用計	0		0	0
当期経常外増減額	0		0	0
指定正味財産へ振替	0		0	0
当期一般正味財産増減額	9,727,434		0	9,727,434
一般正味財産期首残高	30,926,763		0	30,926,763
一般正味財産期末残高	40,654,197		0	40,654,197
Ⅱ指定正味財産増減の部				
特定資産運用収益	112			112
一般正味財産への振替額	△ 155,267			△ 155,267
当期指定正味財産増減額	△ 155,155			△ 155,155
指定正味財産期首残高	1,612,447			1,612,447
指定正味財産期末残高	1,457,292			1,457,292
Ⅲ正味財産期末残高	42,111,489	0	0	42,111,489

監　査　報　告　書

令和５年５月１５日

公益社団法人　山陽技術振興会
　会長　　梶 谷 浩 一　殿

公益社団法人　山陽技術振興会

監事　雀部　中男

監事　福山　照芳

私ども監事は、公益社団法人 山陽技術振興会の令和４年度職務執行ならびに会計について監査を行い、監事２人の一致した意見として以下のように報告します。

１．監査の方法と内容

私ども監事は、理事及び使用人、会員と意思疎通を図り、情報の収集および監査環境の整備に努めると共に、理事会に出席し、理事及び使用人からその職務の執行について報告を受け、重要な決済書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、令和４年度の事業報告について監査しました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

２．監査の結果

（１）　事業報告等の監査結果

①　事業報告は法令及び定款に従い、法人の状況を正しく表示していると認めます。

②　理事の職務の執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に反する重大な事実は認められません。

（２）　計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及び附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全て適正に表示しているものと認めます。

令和５年５月１５日

自署　押印　雀部中男

自署　押印　福山照芳

令和５年度　活動方針と事業計画

Ａ　活動方針

（公社）山陽技術振興会は会員が自主的に協力して相互研鑽、技術振興をもって、産業の発展に資するとして集まっている団体である。その特徴は会員主導、技術交流をもとにした技術者交流である。技術立国を目指し積極的に行動する。

１．技術者交流をより活発にする。
２．産学官連携を積極的に行い、会員の増加に努力する。
３．「山陽人材育成講座」の持続性を高めるよう新たなニーズ把握に努める。
４．公益法人にふさわしい活動の多様化を目指す。

Ｂ　実行計画

１．第７８回総会　５月２５日（木）１５時　倉敷商工会議所
２．第１８回村川・難波技術奨励賞授賞式　１５時３０分～
３．記念講演「古民家再生と倉敷のまちづくり～楢村徹設計事務所の仕事～」楢村徹
（古民家再生 40 年、時代がようやく楢村徹の仕事に追いついた！）　16 時～
４．セミナ：環境、DX、革新技術、CN など特色あるセミナを企画､実施する。
５．交流会：技術交流会（年間４回程度）　講師の講演と交流会　夕方 18:00～20:30
６．山技振サロン（兼企画委員会・編集委員会）：原則毎月第３金曜日 18:00～20:00
８月、１２月は懇親大交流会
７．工場見学会　年間４回程度（４，６，１０，１月）適宜実施
８．技術情報発信　①山技振ホームページの充実。
②「山技振たより」毎月１日発行。
③山陽技術雑誌 Vol.71　令和５年５月発行、250 部。
④補助金・助成金情報（不定期）

Ｃ　対外活動

１．他団体などと協力、共催して技術振興事業に努める。
２．科学技術業績の推薦、表彰をする（文部科学大臣表彰、県知事表彰、その他)。
３．顕彰事業（生徒/児童発明工夫展、未来の科学の夢絵画展、児童生徒科学研究発表会表彰式、溶接技術競技会表彰式、ロボカップジュニアで山陽技術振興会会長賞授与)

Ｄ　製造中核人材育成事業「山陽人材育成講座」

前年度は､コロナ禍がつづく中でリモートを適宜活用しながら体験型講座を含むホームコースと出前講座の拡大に努めて来た結果､受講者数は延べ 2,600 名超とコロナ前のレベルにまで回復した。講座担当者・企業の教育担当者・受講生三者の創意工夫

と努力により想定以上の教育効果を上げたと認識している。「コロナ禍でも企業の人材育成をしっかり支援する」との当講座の方針が企業にもしっかり受け止められたと評価している。今年度もこの方針のもとに、ウイズ・コロナを想定し、且つ遠隔地からの要望にも沿う「リモート講座体制」を継続する一方で「安全な体験型講座の拡大」と「受講者数の一層の拡大」を進める。また、「設備材料の損傷と管理」など、企業ニーズに沿った「新メニュー講座」を投入する。年央には、美和事務所から水江事務所への移転をスムーズに実施するとともに、水江研修室の設備機能拡充（リモート機器補完、タブレット PC、受講人員増、食事スペース拡充等)、リモート講座の多様化、安全体験講座の充実、教育事業のメニュー拡大等を考えており、事務所移転に併せて様々な改革を実施する。

主な参加企業で山陽人材育成会を組織しており、６月２日（金）に倉敷商工会議所で総会開催予定。主要企業の担当者会議を年４回開催し、各社の意見を聞いて講座に生かしている。また、AB（アドバイサリーボード）会議を年４回開催している。

Ｅ　技術奨励賞（村川・難波技術奨励賞、山陽技術賞）

第１８回村川・難波技術奨励賞：３件の応募があり、いずれも相当のレベルにあると判断されたので久しぶりに審査委員会を開催し２件の当選を決めた。総会で表彰する。

① 「スチレン系軟質樹脂を用いた腎生検シミュレーターの開発」辻憲二（岡山大学学術研究院医歯薬学域腎・免疫・内分泌代謝内科学助教)、久保覚（佐野商会)、大西宏・佃豊裕（タイセイメディカル）

② 「統合型 MR 安全性情報管理システムの開発」福永正明・宮崎嵩之（公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院)、藤岡斉・関口麻衣子・田中修・田中春奈（メディエ株式会社）

村川・難波技術奨励賞は基金が尽きたので終了とする。山陽技術賞は５年に一度の創立記念式典の場で顕著な実績を上げた開発技術を表彰するものである。75 周年記念式典をコロナ禍で逃したので有効活用を考えたい。

Ｆ　山陽技術振興会の美和事務所閉鎖に伴う事業見直し

現美和事務所は倉敷市所有の建物で 1998 年から 25 年間利用して来たが、総合計画に伴い令和６年３月に退去する必要が生じた。これを機に事業内容の見直しを行う。

山陽技術振興会３事業

① 技術振興事業【(1)講演会　(2)工場見学会　(3)技術交流会　その他】

② 技術普及事業【(1)技術情報提供、(2)技術奨励賞、(3)文部科学大臣表彰・県知事表彰推薦、(4)顕彰事業、(5)共催事業、(6)協力事業、その他】

③ 人材育成事業【山陽人材育成講座】：事務所を水江研修室隣接場所に移転。移転と並行して講義内容の拡充、設備機能の整備、教育メニューの拡大を検討する。

［第４号議案］

令和5年度基本事業収支予算　　令和5年4月1日～令和6年3月31日（単位:円）

	項目	予算額	前年度予算額	増減	備考
1	**経常収益**				
	受取会費	**2,290,000**	**2,400,000**	**△ 110,000**	
	受取会費				
	法人会費	1,900,000	2,000,000	△ 100,000	
	公共機関会費	180,000	180,000	0	
	団体会費	80,000	90,000	△ 10,000	
	個人会費	130,000	130,000	0	
	事業収益	**2,250,000**	**2,250,000**	**0**	
	技術振興事業収益				
	技術振興普及事業	1,800,000	1,800,000	0	セミナー、交流会、見学会、サロン
	科学情報提供事業	450,000	450,000	0	資料斡旋、技術雑誌広告
	受取寄付金	**288,665**	**110,000**	**178,665**	
	受取寄付金振替額				
	村川・難波技術奨励賞基金	288,665	110,000	178,665	
	山陽技術賞基金	0	0	0	
	雑収益	**1,000,000**	**1,000,000**	**0**	
	受取利息	0	0	0	
	雑収益	1,000,000	1,000,000	0	人材より
	経常収益計	**5,828,665**	**5,760,000**	**68,665**	
2	**経常費用**				
	事業費	**4,113,665**	**4,142,000**	**△ 28,335**	
	給与手当	2,770,000	2,770,000	0	給与手当の70%
	福利厚生費	29,000	29,000	0	福利厚生費の70%
	謝礼　諸謝金	33,000	20,000	13,000	
	会議費　会議費	150,000	230,000	△ 80,000	技術交流会、サロン、セミナー
	印刷・製本費　印刷費	30,000	50,000	△ 20,000	封筒等
	旅費交通費	50,000	50,000	0	
	通信運搬費	90,000	110,000	△ 20,000	
	消耗品費	10,000	10,000	0	
	支払負担金	200,000	220,000	△ 20,000	
	賃借料	30,000	30,000	0	室料
	租税公課	78,000	80,000	△ 2,000	
	表彰費	200,000	100,000	100,000	
	雑誌発行費	340,000	340,000	0	
	雑費				
	情報関連経費	13,000	13,000		
	雑費	90,665	90,000	665	
	管理費	**1,715,000**	**1,618,000**	**97,000**	
	給与手当	1,187,000	1,187,000	0	給与手当の30%
	福利厚生費	13,000	13,000	0	福利厚生費の30%
	会議費　会議費	120,000	120,000	0	総会、役員会その他
	印刷・製本費　印刷製本費	75,000	80,000	△ 5,000	総会議案
	通信運搬費	60,000	60,000	0	
	消耗品費	5,000	5,000	0	
	光熱水料費	220,000	120,000	100,000	
	租税公課	2,000	0	2,000	
	雑費				
	火災保険料	3,000	3,000	0	
	雑費	30,000	30,000	0	
	経常費用計	**5,828,665**	**5,760,000**	**68,665**	
経常損益計		**0**	**0**	**0**	

	期末	期首		
村川・難波技術奨励賞基金	**0**	**288,665**	**△ 288,665**	
山陽技術賞基金	**1,168,627**	**1,168,627**	**0**	

令和5年度人材育成講座予算

令和5年4月1日～令和6年3月31日(単位　円)

	項目		予算額	前年度予算額	増減	備考
1	経常収益					
	受取会費					
		山陽人材育成会費	1,240,000	1,260,000	△ 20,000	日本火薬退会
	事業収益					
	人材育成事業	受講料費	56,648,000	48,880,000	7,768,000	受講者数増（年初希望x0.97）
		受託研修事業	440,000	550,000	△ 110,000	カネカ無し
	雑収益					
		受取利息	1,000	10,000	△ 9,000	
	経常収益計①		58,329,000	50,700,000	7,629,000	
2	経常費用					
	事業費		48,578,500	41,286,000	7,292,500	
	給与手当		11,400,000	8,140,000	3,260,000	雇用変更、ベースアップ
	福利厚生費		1,540,000	1,060,000	480,000	雇用変更、ベースアップ
	退職金給付費用		617,000	436,000	181,000	
	謝礼	＊講師謝礼	16,854,000	14,110,000	2,744,000	受講増で謝礼増、一時金
	会議費	研修会議費	300,000	500,000	△ 200,000	
	印刷・製本費	テキスト費	700,000	700,000	0	
	講座関連費	講座関連費	1,800,000	1,800,000	0	
		OA費	200,000	200,000	0	
	教材改訂・開発費		7,000,000	7,130,000	△ 130,000	
	受託事業経費		990,000	1,100,000	△ 110,000	カネカ無し
	通信運搬費		350,000	350,000	0	
	備品費		0	0	0	
	賃借料		2,727,500	2,150,000	577,500	移転に伴う賃料増
	雑費	協力費	1,000,000	1,000,000	0	
	租税公課		3,100,000	2,610,000	490,000	受取消費税増
	管理費		9,750,500	9,014,000	736,500	
	給与手当		4,860,000	3,500,000	1,360,000	雇用変更、ベースアップ
	福利厚生費		660,000	455,000	205,000	雇用変更、ベースアップ
	退職金給付費用		264,500	187,000	77,500	
	旅費交通費		500,000	700,000	△ 200,000	(実績で修正)
	消耗品費		300,000	300,000	0	
	通信運搬費		400,000	350,000	50,000	
	広告宣伝費		200,000	300,000	△ 100,000	(実績で修正)
	会議費		160,000	160,000	0	
	修繕費		150,000	150,000	0	
	備品費		206,000	832,000	△ 626,000	
	リース料		1,000,000	700,000	300,000	リース料増
	光熱水料費		300,000	250,000	50,000	(実績で修正)
	雑費	新聞図書費	200,000	180,000	20,000	
		OA費	300,000	600,000	△ 300,000	
		為替手数料	150,000	150,000	0	
		雑費	100,000	200,000	△ 100,000	
	経常費用計②		58,329,000	50,300,000	8,029,000	
経常損益計③=①-②			0	400,000	△ 400,000	
経常外費用④			6,750,000	0		事務所移転費用(工事引越等)
当期費用計⑤=②+④			65,079,000	50,300,000		
当期損益計⑥=①-⑤			△ 6,750,000	400,000		

	期首	期末		
一般積立金	22,553,959	16,403,959	△ 6,150,000	事務所移転費用
研修室基金	16,013,688	16,013,688		
貸付金	600,000	0	△ 600,000	貸付金最終年
積立金合計	39,167,647	32,417,647	△ 6,750,000	
退職金積立	2,868,000	3,749,480	881,480	2023年度積立額

*講師謝礼に委託料と講師旅費交通費を含む

正味財産増減計算書 （損益ベース）

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで　　（単位:円）

科　　目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合　計
Ⅰ一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1)経常収益				
受取会費	1,765,000		1,765,000	3,530,000
受取会費	1,765,000		1,765,000	3,530,000
事業収益	49,637,500		9,700,500	59,338,000
技術振興事業収益	2,250,000		0	2,250,000
人材育成事業収益	47,387,500		9,700,500	57,088,000
受取寄付金	288,665		0	288,665
受取寄付金振替額	288,665		0	288,665
雑収益	1,001,000		0	1,001,000
受取利息	1,000		0	1,000
雑収益	1,000,000		0	1,000,000
経常収益計	52,692,165	0	11,465,500	64,157,665
(2)経常費用				
給与手当	14,170,000		6,047,000	20,217,000
福利厚生費	1,569,000		673,000	2,242,000
退職給付費用	617,000		264,500	881,500
謝礼	16,887,000		0	16,887,000
会議費	450,000		280,000	730,000
印刷・製本費	730,000		75,000	805,000
講座関連費	2,000,000		0	2,000,000
教材改訂・開発費	7,000,000		0	7,000,000
受託事業経費	990,000		0	990,000
旅費交通費	50,000		500,000	550,000
通信運搬費	440,000		460,000	900,000
備品費	0		206,000	206,000
修繕費	0		150,000	150,000
消耗品費	10,000		305,000	315,000
支払負担金	200,000		0	200,000
光熱水料費	0		520,000	520,000
賃借料	2,757,500		0	2,757,500
リース料	0		1,000,000	1,000,000
租税公課	3,178,000		2,000	3,180,000
広告宣伝費	0		200,000	200,000
表彰費	200,000		0	200,000
雑誌発行費	340,000		0	340,000
雑費	1,103,665		783,000	1,886,665
経常費用計	52,692,165	0	11,465,500	64,157,665
評価損益等調整前当期経常増減額	0		0	0
評価損益等計	0		0	0
当期経常増減額	0		0	0
2. 経常外増減の部				
(1)経常外収益				
経常外収益計	0		0	0
(2)経常外費用				
事務所移転費用	6,750,000		0	6,750,000
経常外費用計	6,750,000		0	6,750,000
当期経常外増減額	△ 6,750,000		0	△ 6,750,000
指定正味財産へ振替	0		0	0
当期一般正味財産増減額	△ 6,750,000		0	△ 6,750,000
一般正味財産期首残高	40,654,197		0	40,654,197
一般正味財産期末残高	33,904,197		0	33,904,197
Ⅱ指定正味財産増減の部				
特定資産運用収益	0			0
一般正味財産への振替額	△ 288,665			△ 288,665
当期指定正味財産増減額	△ 288,665			△ 288,665
指定正味財産期首残高	1,457,292			1,457,292
指定正味財産期末残高	1,168,627			1,168,627
Ⅲ正味財産期末残高	35,072,824	0	0	35,072,824

［第５号議案］

令和５年度役員（案）（5月25日総会承認を要す）
今期は役員非改選期です。原則留任をお願いしますが、人事異動等により変更のある場合は早めに連絡をお願いします（法務局への届出書類が必要）。

		姓名	所属企業・機関名	役職名	変更
理事	会長	梶谷浩一	(公社)山陽技術振興会	会長兼事務局長	
	副会長	古川誠博	ＪＦＥスチール㈱西日本製鉄所	所長 専務執行役員	○
	〃	岡本卓郎	丸五ゴム工業㈱	代表取締役会長	
	〃	坂本和繁	㈱クラレ岡山事業所	事業所長 執行役員	
	〃	武鑓謙治	㈱タケヤリ	代表取締役社長	
		三浦智美	岡山県産業労働部	部長	○
		菅　誠治	岡山大学工学部	工学部長	○
		中村　修	岡山県工業技術センター	所長	○
		中野正志	倉敷紡績㈱鴨方工場	工場長	○
		小川博史	三菱ガス化学㈱水島工場	工場長 執行役員	○
		坂本万明	倉敷商工会議所	専務理事	
		青木肇也	(公社)山陽技術振興会	人材育成室 室長	
		森山知己	倉敷芸術科学大学	副学長 研究連携センター長	○
		香川俊樹	(公財)倉敷考古館	館長	
		藤森　徹	RSK山陽放送㈱	特別顧問	
		佐々木善久	㈱山陽新聞社倉敷本社	常務取締役倉敷本社代表	○
		吉澤洋一	山陽電研㈱	常務取締役	
		兼信英雄	太陽電機工業㈱	代表取締役	
		中島　稔	ナカシマホールディングス㈱	代表取締役副会長	
		氏原　尚	ＤＯＷＡエレクトロニクス岡山㈱	代表取締役社長	
		三宅　雅	倉敷中央病院統括マネジメント本部	医療ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ推進室 室長	
		沖　陽子	岡山県立大学	学長	
		櫻井和光	旭化成㈱製造統括本部水島製造所	所長 執行役員	○
		植田章夫	(公社)山陽技術振興会	人材育成事業統括	
		横溝精一	(公社)山陽技術振興会	企画会議代表	
		山田知純	(公社)山陽技術振興会	人材育成室顧問	
監事		雀部中男	ササベ印刷㈱	取締役会長	
		福山照芳	（有）オール重設工事	顧問	
	名誉会長	池上　正	(公社)山陽技術振興会	名誉会長	
顧問		伊原木隆太	岡山県	知事	

変更予定
古川誠博　⇒堀澤輝雄（ＪＦＥスチール㈱西日本製鉄所　所長 常務執行役員）
三浦智美　⇒宮本由佳（岡山県産業労働部　部長）
菅　誠治　⇒難波徳郎（岡山大学工学部　工学部長）
中村　修　⇒西　勝志（岡山県工業技術センター　所長）
中野正志　⇒市川琢也（倉敷紡績㈱鴨方工場　工場長）
小川博史　⇒木山　浩（三菱ガス化学㈱水島工場　工場長 執行役員）
森山知己　⇒馬場始三（倉敷芸術科学大学　副学長 研究・地域連携センター長）
佐々木善久　⇒仮谷寛志（㈱山陽新聞社倉敷本社　常務取締役倉敷本社代表）
櫻井和光　⇒山口孝夫（旭化成㈱製造統括本部水島製造所　所長 上席理事）